

## 第 4 回佐渡市地域振興官民協働委員会議事概要

日 時	平成 26 年 3 月 11 日（火） 14：00～17：00
会 場	佐渡市役所 3 階大会議室
出席者	委員：松田祐樹、鈴木涼太郎、中野奈美子、地多正光、佐々木美幸 （総合政策課） 地域活動支援員：金子一雄、佐藤一富、坂本孝明、坂本辰巳 地域振興課：加藤補佐、斉藤係長、有田主任、池藤主事
議 題	(1) 平成 25 年度 活動の振り返りについて 官民協働委員及び支援員より今年度の活動についての報告、感想、意見を各々述べてもらう (2) 平成 26 年度 事業の方向性について
議事概要	<p><b>（地域活動支援員も参加）</b></p> <p>(1) 平成 25 年度の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 赤泊、達者地区で開催したワークショップの成果としてだされた地域づくりアイデアや、地域の宝マップを今後どのように活用すべきか、またどのように地元における地域づくり活動につなげていくかを検討。 明確な目的をもった地域づくりの組織の設立や、女性や若者を巻き込んだ組織づくりの必要性について意見が出された。</li> <li>● 羽茂地区の能合宿や七浦地区の夏学校等、大学との交流事業について、これまでの活動報告や今後の事業展開について話合われた。 受入れ組織の設立や、集落よりもう一つ広い地域割（学区等）でのコミュニティ活動の必要性などが提案された。</li> <li>● 松ヶ崎地区、関集落、赤泊地区等で行われた交流事業についての報告とそれらに関する意見を出し合った。 祭り等地域行事の継続のため、集落外の人々の取込みの仕方や、集落間同士での協力の必要性等についての意見がだされた。</li> <li>● 今年度の 2 本柱であるコミュニティビジネスと能合宿受入組織立上げについて、羽茂の組織化は進んでいるが、コミュニティビジネスの具体化は出来なかった。</li> </ul> <p>(2) 平成 26 年度の事業の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 当委員会の最終目標である中間支援組織の育成については、各分野での様々な支援組織を育成するのか、それらを取りまとめる組織をつくるのか、焦点を絞るべき。</li> <li>● 佐渡芸能伝承機構は、すでに大学と地域とのつなぎ役として、中間支援組織となっている。さらに、羽茂の能合宿受入組織などのような支援組織を、様々な分野で島内各地につくっていく</li> </ul>

	<p>ことが必要であり、それを包括して取りまとめることは必要ないのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 包括する組織としては、この官民協働委員会が相応しいのではないか。あらゆる分野の地域づくりの実践者が集まって意見交換をしながら、地域支援の方策を検討していく。</li><li>● H26 年度は懇談会的な組織とし、情報や意見交換の場として開催したい。</li><li>● できれば現状のメンバーで引き続きお願いしたい。</li><li>● 祭りや芸能以外にも様々な分野で活躍している団体から、新たにメンバーとして参加してもらいたい。</li><li>■ H26 年度は、もっと会議の回数を増やし、地域活動支援員や地域おこし協力隊等とも情報交換をしていきたい。</li></ul>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------